

1. データ入力上の注意点

基本的には、回答の選択肢の数字を入力すればよいです。ただし、以下の点にご注意。

1.1. 2桁の間

以下の項目は2桁とる。例えば、「3」でなく「03」と入力。

調査票返送用封筒の消印日付、問1 誕生日、問11、問17年齢

なお、問12は1桁とし、現実にはほとんどいないが、9人以上はすべて9とする。

1.2. 複数回答

問14は複数回答なので、 がついていれば1、なければ0として、0か1の値を16個入力する。例えば、2だけに がついている場合、0100000000000000となる。

1.3. 修正してある回答

回答者の答えがおかしい場合、調査者が、回答を修正していることがある。例えば、自由回答での自分の職業を販売職としているのに、最後の問で専門職と答えている場合など。そのような場合、回答を修正した数字が回答欄右に書いてあるので、修正後の数字を入力。

1.4. 返送用封筒

調査票にはさんである返送用封筒は、あとで消印などを確認することかあるので、なくさないよう、そのままはさんでおいてください。

2. 欠損値処理

無回答などがあるばあいは、欠損値として9か99を入力してください。ただし、以下の問は、欠損値の場合0を入力するので、この部分について間違わないよう、注意。

問10、問12、問17お仕事、問19D

なお、非該当のコードはとくに設けなかった。必要な場合、分析プログラム中で処理すればよいと考えたため。

3 . 自由回答のアフターコード

問13は今回は無視して空白を4桁入力。

最後の感想は、以下のように入力してください。

- ・無記入、「なし」と記入など 0
- ・好意的回答(ご苦労様など) 1
- ・調査への意見、注文、批判、問17を無回答にしたことの説明 2
- ・調査への苦情、拒否的意見 3
- ・その他、調査・研究内容には関係のない意見や感想 4

問17の頭文字や、問16、問19の「その他」での自由回答は無視。

4 . カラム・ガイド

1人のデータは2行。行内の各桁(カラム)の内容は以下の通り。以下に記述がない部分は、別途に作成する分析用SPSSプログラム内のカラム指定を参照。なお、基本的に、改ページごとに空白を入れている。

1行目

カラム	質問項目
1-2	地点番号
3-4	個人番号
5	空白
6	調査票返送日消印 月
7-8	調査票返送日消印 日
9	問1 性別
10-11	問1 出生年(昭和の年)
12-13	問1 出生月
14	空白
15	問2
16	問3
17	問4
18	問5 A左(重要度)
19	問5 B左(重要度)
20	問5 C左(重要度)
.	
.	
.	